

戦時音楽学生Webアーカイブズ「声聴館」オープン記念  
戦没学生のメッセージ「アーカイブ推進コンサート2」

# 作曲家・草川 宏の レゾンデートル ～草川 宏作品集Ⅰ～

## 曲目（全曲草川 宏作曲）

\*初演 \*\*1943年東京音楽学校第143回報国演奏会にて初演

ピアノ曲	Sonatine Nr.1(子供の世界)* スケルツォ** ロンド**	ピアノ:田中 翔平
室内楽曲	絃楽三重奏のための変奏曲*	ヴァイオリン:堀 真瑠菜 ヴィオラ:桂田 光理 チェロ:安保 有乃
歌 曲	晩秋(三木露風詩)* 秋に隠れて(島崎藤村詩) 蟹の歌(島崎藤村詩)* 浦島(島崎藤村詩) 黄昏(島崎藤村詩) 星と花(土井晩翠詩)*	テノール:大平 倍大 バリトン:田中 俊太郎 テノール:大平 倍大 テノール:澤原 行正 バリトン:田中 俊太郎 バリトン:田中 俊太郎 ピアノ:松岡 あさひ

進行:大石 泰(「戦没学生のメッセージ」プロジェクト代表)

2019年7月27日(土)

14:00開演(13:30開場)

会場:東京藝術大学音楽学部内第6ホール

入場無料・要事前申し込み

(定員200名 詳細は裏面をご覧ください)

## 草川 宏プロフィール

大正10(1921)年10月28日東京生まれ。昭和15(1940)年4月東京音楽学校予科に入学し、翌年4月本科作曲部に進む。同18年9月繰上げ卒業となり研究科に進学。信時潔、下總皖一、橋本國彦、H.フェルマーに師事した。本科の卒業作品《奏鳴曲イ長調》は大島正泰により演奏された。同19年6月15日入隊。翌20年6月2日フィリピン・ルソン島バギオ北部のポントック街道にて戦死。演奏可能な20数曲が確認される。曲を書き上げると弟(草川誠氏)にピアノで弾いて聞かせては批評を求めたという。召集される前の半年分の日記が残され、レッスンで注意されたこと、島崎藤村の歌曲集を出版する夢、食料不足の日常、ラジオで聞いた演奏曲目や大本営発表等が書き留められている。父・草川信をはじめ、その長兄・草川宣雄、三兄・草川友忠、さらに宏の従兄・草川啓も東京音楽学校の卒業生であった。

写真提供:草川 誠

【お問合せ】東京藝術大学演奏藝術センター TEL 050-5525-2465

【主催】東京藝術大学演奏藝術センター 東京藝術大学音楽学部

東京藝術大学音楽学部大学史料室 TEL 050-5525-2358

<https://www.geidai.ac.jp>

## お申し込み方法

往復ハガキ(1枚につき1名)に必要な事項をご記入の上、下記までお申し込みください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。

往信用	返信用	返信用	往信用
62 110-8714 東京都台東区上野公園 12-8  東京藝術大学  「アーカイブ 推進コンサート 2」 係	※返信側には何も 記入しないでください	62 □□□□□□  ※送り先 (お申込者のご住所)を ご記入ください	「7月27日入場希望」  ①郵便番号とご住所 ②お名前(ふりがな) ③お電話番号 (ご連絡の取れる番号)

応募締切り7月8日(月)必着(当選ハガキは7月11日(木)発送予定)

## 東京藝術大学音楽学部

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

- JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、  
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10分
- 東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅、  
京成線京成上野駅、より徒歩 15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



戦時音楽学生 Web アーカイブズ

せいちょうかん

### 「声聴館」 (命名: 保岡 直樹氏)

この度、東京藝術大学では、2017年よりスタートした「戦没学生のメッセージ」プロジェクトの成果を、より広く社会に還元するため、戦時音楽学生Webアーカイブズ「声聴館(せいちょうかん)」を本学大学史史料室のホームページ上に開設いたしました。これは戦時中、東京音楽学校に在籍した音楽学生の譜面、日記などの資料を、ご遺族のご協力のもと蒐集・整理し、公開していくものです。

当座は東京音楽学校出身の4名の戦没学生に関する資料を公開しますが、ゆくゆくは戦没学生に限らず、また学校も東京音楽学校以外にも広げ、今まであまり光が当てられてこなかった「戦時下の音楽教育」の状況を明らかにしていく所存です。是非、「声聴館」を訪れ、彼らの生きた証に触れていただきたく、お願い申し上げます。

<https://archives.geidai.ac.jp>



## 「アーカイブ推進コンサート」とは

「戦没学生のメッセージ」プロジェクトは、東京音楽学校の戦没学生たちの消息を明らかにし、彼らの生きた証である作品を調査・発掘しアーカイブ化することを目的に2017年にスタートしました。しかし形に残る美術作品と違い、音楽の場合、その譜面からだけでは彼らの思いを汲み取ることは難しく、どうしても音として再現する必要があります。そこで音源録音のためのコンサートを、「アーカイブ推進コンサート」として実施しております。